

広報 なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和元年(2019年)7月 第166号

5月臨時会特集号

5月臨時会は、5月14日から16日までの3日間にわたって開かれ、正副議長選挙、議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会の委員選任、市長提出案件についての審議などを行い、市会の新しい構成が決まりました。

名古屋市会

Q 検索

名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶



議長に丹羽ひろし議員(自民)、副議長に岡本やすひろ議員(民主)を選出

市民の皆様へ 正副議長就任に当たり



第94代 名古屋市会議長

丹羽 ひろし

(名東区選出)



第102代 名古屋市会副議長

岡本 やすひろ

(緑区選出)

私たちは、令和という新たな時代が幕を開けた直後の5月臨時会において、第94代議長並びに第102代副議長に就任いたしました。歴史ある名古屋市会の議長並びに副議長への就任は、大変光栄であると同時に、その責任、使命の重大さを痛感しております。

去る4月に実施された名古屋市議会議員一般選挙においては、前任期の議員定数より7名減となる68名の新たな議員が選出され、これからの4年間のスタートとして、市民の皆様の声を市政に反映できるよう、より一層努力していかなければならないと決意を新たにしているところです。

さて、本市では、南海トラフ巨大地震や想定を超える豪雨などの自然災害に対する懸念、少子化・高齢化の進行など、さまざまな課題に対応していかなければならない状況にあります。また、2026年の第20回アジア競技大会開催や2027

年のリニア中央新幹線開業に向けて、本市の魅力を積極的に発信しつつ、本市の飛躍につながるまちづくりを進めていかなければなりません。

名古屋市会は、こうした状況に迅速かつ的確に対応していくため、二代表制の一翼を担う選挙で選ばれた市民の皆様の代表として、市長とは相互に独立対等な立場で緊張関係を保ちながら、是々非々の姿勢で、その役割を着実に果たし、より良い市政を実現していきたいと考えております。

令和最初の議長・副議長として、「令和」の文字が持つ意味や名古屋市会の象徴である円形の議場に込められた思いを踏まえ、円滑かつ円満な議会運営に全力で取り組むとともに、市民の皆様にとって、議会や市政をより身近に感じていただけるよう尽力していく所存です。

市民の皆様のご理解とご協力を心からお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

「なごや 子ども市会」を開催します

名古屋市会では、子どもたちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めてもらうため、市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、「なごや 子ども市会」を開催します。「なごや 子ども市会」では、子ども同士の話し合いや岩手県陸前高田市の子どもたちとの交流を通じ、お互いを思いやる心をより一層育む機会を設けます。



メインテーマ

大好きな名古屋を 笑顔があふれるまちにしよう

～届け、わたしたちの思い～

内 容

- 子ども議員が、委員会(グループ)ごとに分かれて、現場視察や事前の話し合いをもとに、本会議でテーマごとに意見を発表します。
- 陸前高田市の子どもたちへメッセージを送ります。

日 時

- 本会議

令和元年8月10日(土) 午後1時開会

「なごや 子ども市会」の傍聴は、子ども議員の関係者等のみとなっていますが、8月10日(土)の本会議はインターネット中継を行います。ぜひご視聴ください。

お問い合わせ先

名古屋市会事務局総務課 TEL 972-2083

「なごや 子ども市会」の開催に当たり、 子ども議員のメッセージを送る 陸前高田市を議長が訪問しました

6月3日から4日にかけて丹羽ひろし議長が陸前高田市を訪問し、伊藤明彦市議会議員、戸羽太市長と面会しました。



丹羽ひろし議長は、両市の子どもの交流を深めるため、子ども議員一人一人のメッセージをお届けしたいと伝えました。

右:丹羽ひろし
名古屋市会議長

左:伊藤明彦
陸前高田市議会議員

エピソード

～子ども市会と「ぞう列車」～

名古屋市では戦後間もない昭和20年代前半に子ども議会が開催されていました。絵本にもなった有名な「ぞう列車」を走らせたのは、その当時の子ども議会の要請でした。東山動物園に戦後生き残った2頭の象を東京の「台東区子ども議会」の代表が名古屋市に借りに来ました。しかし、2頭の象を東京まで移動させることができませんでした。その代わりに、全国の子どもたちが東山動物園の象を見られるよう「ぞう列車」を走らせることになったのです。

